

スペインの洪水と減収で柑橘類とオレンジ果汁の供給が混乱

[FreshPlaza 2024年11月22日](#)

バレンシア州では、スペインの他の地域と同様、10月29日に深刻な洪水に見舞われ、柑橘類産業も含めて甚大な被害が発生した。州の農業者協会(AVA-ASAJA)は、柑橘類部門が1億9,200万ユーロ(2億500万米ドル)を超える損害を被ったと報告した。この出来事は、青果と飲料の両方で柑橘類をスペインに依存しているヨーロッパ市場に混乱をもたらした。

柑橘類管理委員会は、バレンシア州内の梱包施設は引き続き稼働しているとしている。しかし、世界の供給チェーンはオレンジ果汁の主要生産国であるブラジルと米国の収穫量の減少により圧迫されている。ブラジルは干ばつとカンキツグリーンング病により収穫量が過去30年で最低になっており、フロリダ州も同様の課題に直面している。英国果汁協会は、オレンジ果汁が過去50年以上で最も手に入りにくくなっていると指摘しており、この不足が続く可能性があると予想している。

ミンテック社ベンチマーク価格が前年比で130%上昇したオレンジ果汁の価格高騰を受けて、関連企業は代替の原料を模索している。英国のコールドプレス社では、高圧加工技術を活用したマンダリン果汁を導入した。同社の創業者であるアンドリュー・ギブ氏は、マンダリンを栄養価の高いオレンジの代替品として推奨している。同様に、米国のアングルマツ社は、有機オレンジ果汁、ココナッツウォーター、生姜を取り入れたお茶や健康飲料(ショット)に製品の品揃えを拡大している。

スペイン産柑橘類の供給の減少を受けて、地中海諸国と南米諸国はヨーロッパの需要を満たすための調整を行っている。ギリシャ、モロッコ、エジプトは輸出を増やしており、アルゼンチンとペルーはEUの規格に合わせて輸出戦略を見直している。環境関連の災害から農業上の病害まで、オレンジ果汁業界が直面する課題は世界の果汁の生産と流通に影響を及ぼし続けており、流通量の制約と価格の高騰につながっている。

出典: [Food&Drink](#) (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

タイ ニュージーランド産リンゴとキウイフルーツの需要の高まり

[FreshPlaza 2024年11月22日](#)

タイには多様な熱帯果実があるにもかかわらず、ニュージーランド産のリンゴとキウイフルーツに対する嗜好が高まっており、T&Gグローバル社では、これらの果実、特にリンゴブランドのジャズとエンヴィイに対する需要が着実に増加している。同社のアジア担当統括マネージャーであるジェームズ・ゴードン氏は、タイが世界へのエンヴィイ輸出量の15.5%を占めて大きく貢献しており、輸出拡大計画において重要であると強調した。

タイは、ベトナム、台湾とともに、ニュージーランドのリンゴ輸出市場のかなりの部分を担っており、これらの国を合わせると総輸出の約3分の1を占めている。中国と欧州連合も注目すべき市場である。同社は、2016年以降、タイでのリンゴとキウイフルーツの販売で年率2桁の成長を遂げており、ゼスプリとのパートナーシップを通じてゼスプリブランドのキウイフルーツを販売している。2023-24年度シーズンには、同社はタイでゼスプリサンゴールドとグリーンキウイフルーツを大量に販売した。

市場の嗜好に関しては、タイの消費者はプレミアムで高品質な果実にお金を払う意欲を示しており、エンヴィイはプレミアム市場をリードしている。この市場は、価格重視の果実市場と比較すると小さいが、アジア市場の文脈では重要である。独特の甘酸っぱい風味で知られるジャズも、エンヴィイほどではないものの好調である。

キウイフルーツに関しては供給が重要な課題であり、需要は常に供給を上回っている。ブランド認知度とプレミアムな位置づけにより、リンゴとキウイフルーツの両方で好調な売上を維持している。同社はさらに、プレミアムリンゴを補完する新ブランドであるジョリを導入し、2028年に商業的にリリースする予定である。

旺盛な需要に応えるため、同社はニュージーランド国内の様々な地域の生産者と協力して、エンヴィイとジャズの取扱量を増やしている。同社は、東南アジア市場での存在感と消費者の忠誠度を維持するため、果実の周年供給の確保を目指しており、それはこの地域での生鮮果実部門の果てしない可能性を強調している。

出典: [Farmers Weekly](#) (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)